

重要なお知らせ；ソフトウェアに起因する現象のご連絡

SW1A 形 Automation Organizer FC6A 形 MICROSmart

Automation Organizer に収録の FC6A 形 MICROSmart において、以下の現象を確認いたしました。対象製品をご使用のお客様は以下に記載している内容をご確認の上、ご対策くださいますようお願いいたします。

現象一覧

No.	現象	現象修正バージョン	リリース日
1	特定の操作でユーザープログラムをダウンロードすると、通信ポート設定とコネクション設定が反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> • FC6A 形 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.31 • FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.31 • FC6A 形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.90 	2021 年 7 月
2	ZLD ファイルを格納した SD メモリカードを挿入して動作させた時、コネクション 6～16 で設定したサーバーポートに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> • FC6A 形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.1.90 	2021 年 7 月

対策方法

Automation Organizer Ver.3.23.0 に同梱される以下バージョンのソフトウェアで対応しております。

<input type="checkbox"/> FC6A 形 All-in-One CPU モジュール	システムソフトウェア Ver.2.31
<input type="checkbox"/> FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール	システムソフトウェア Ver.2.31
<input type="checkbox"/> FC6A 形 Plus CPU モジュール	システムソフトウェア Ver.1.90

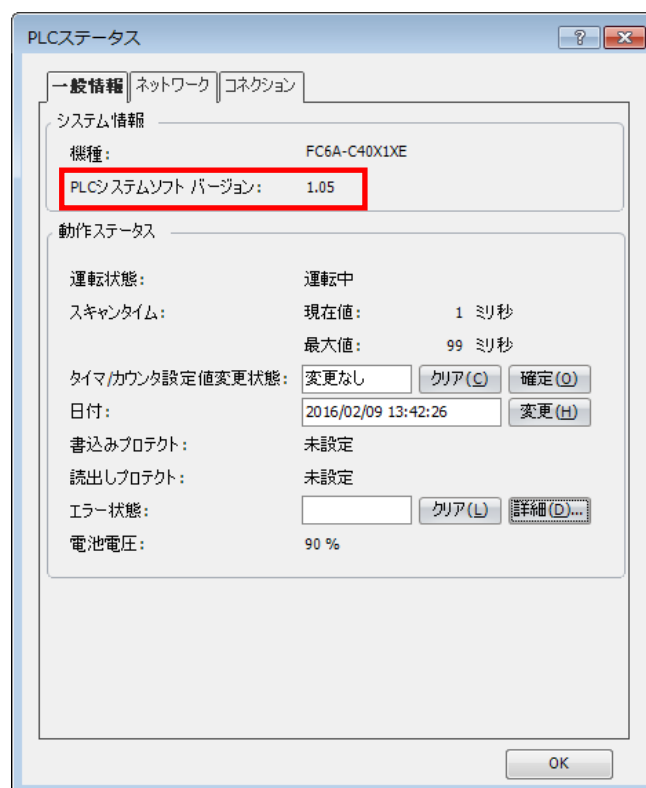
弊社ホームページより上記のバージョンまたはそれ以降のバージョンの

インストーラ【システム統合ソフトウェア Automation Organizer アップデート版】をダウンロードし、インストールしてソフトウェアをアップグレードしてください。

<https://jp.idec.com/idec-jp/ja/JPY/RD/software/automation-organizer>

システムソフトウェアのバージョン確認手順

お手元の FC6A 形 CPU モジュールのシステムソフトウェアのバージョンは、WindLDR の PLC ステータス画面でご確認いただけます。



図序ー1：PLC ステータス画面

現象 No.1

【対象製品】

- ☐ FC6A 形 All-in-One CPU モジュール Ver.1.02～Ver.2.30
 - ☐ FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール Ver.1.02～Ver.2.30
(Automation Organizer Ver.3.10～Ver.3.22.0/ WindLDR Ver.8.0.0～Ver.8.18.0)
 - ☐ FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver.1.00～Ver.1.81
(Automation Organizer Ver.3.9.0～Ver.3.22.0/ WindLDR Ver.8.6.1～Ver.8.18.0)
製品形番：SW1A-W1C
- ※弊社ホームページからダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

機種	形番
FC6A 形 All-in-One CPU モジュール	FC6A-C16***E
	FC6A-C24***E
	FC6A-C40***E
FC6A 形 CAN J1939 All-in-One CPU モジュール	FC6A-C40***EJ
FC6A 形 Plus CPU モジュール	FC6A-D16**CEE
	FC6A-D32**CEE

【現象】

通信ポート設定とコネクション設定を変更したユーザープログラムを、以下いずれかの操作でダウンロードし、そのまま動作させた場合、変更が反映されない。

操作1：（FC6A 形 Plus CPU モジュールは除く）

1. SD メモリカードにダウンロード用の ZLD ファイルを格納する。
2. SD メモリカードを PLC へ挿入し、PLC の電源を ON する。

操作2：

1. PLC の電源を入れずに、USB ケーブルを挿入し、USB バス起動中とする。
2. WindLDR からユーザープログラムをダウンロードする。
3. USB ケーブルを挿入したまま、PLC の電源を入れる。

【暫定的な回避方法】

現象発生後、電源を再投入してください。

現象 No.2

【対象製品】

□ FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver.1.00～Ver.1.81
(Automation Organizer Ver.3.9.0～Ver.3.22.0/ WindLDR Ver.8.6.1～Ver.8.18.0)

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページからダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

機種	形番
FC6A 形 Plus CPU モジュール	FC6A-D16**CEE
	FC6A-D32**CEE

【現象】

以下の条件を全て満たす SD メモリカードを挿入して電源 ON すると、コネクション 6～16 で設定した「メンテナンス通信サーバー」、「ユーザー通信サーバー」、「Modbus TCP サーバー」が動作しない。

SD メモリカードの条件：

- autoexec.ini ファイルの[COMMON_SETTING]セクションで、loading_direction キーに download を記述している。
- PROGRAM フォルダに ZLD ファイルが存在している。

※電源 ON 時に ZLD ファイルのダウンロードがされたかどうかに関わらず、本現象は発生します。

【暫定的な回避方法】

現象発生後、SD メモリカードを抜いてから、電源を再投入してください。

※DLOG/TRACE 命令等で SD メモリカードを使う場合、SD メモリカードの autoexec.ini ファイルから [COMMON_SETTING]セクションの loading_direction キーの行を削除してご利用ください。